高齢大同窓会豊能だより

令和５年(2023)
３月
第２７４号

発行責任者 ： 香川忠輝　豊能町東ときわ台 3-5-15（TEL 080-2534-7615）
E-mail　kagawa511.etokiwa@hera.eonet.ne.jp
大阪府高齢者大学同窓会豊能　（URL http://koureidaitoyono.web.fc2.com/）

第 34 回定期総会のお知らせ

高齢者大学同窓会豊能の会員の皆様、寒さに負けず元気にお過ごしのことと存じ上げます。日頃は、当同窓会にご支援・ご協力をいただきまことにありがとうございます。

令和 5 年度総会を 4 年ぶりに対面で下記の通り実施いたします。総会議案書及び出欠確認票は 3 月下旬ごろ配布いたします。

記

１．日時　　令和 5 年 4 月 22 日（土）　午前 10 時～12 時 30 分
２．会場　　東ときわ台自治会館　　大ホール
３．内容　（１）総会　　10～11 時
　　　　　（２）イベント　11～12 時　・リコーダーアンサンブル　・語り部の会　・歌体操
　　　　　（３）昼食　弁当・お茶　※コロナ感染拡大状況により弁当持ち帰りとなります。

以上

皆様のご参加、お待ちしております。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

報告

令和 5 年度の年会費は、徴収いたしません

会長　香川　忠輝

令和 4 年度において、当同窓会が加入している大阪府高齢者大学同窓会連絡協議会より 117,500 円の分配金入金があり、尚且つ令和 4 年度は前年度より続くコロナ感染拡大により様々な行事が出来なかったためです。但し、新入会員からは、通常の年会費を徴収いたします。

※分配金は、連協加盟「茨木」の同窓会解散に伴い全加盟団体へ配布されました。

※令和 4 年度の次年度繰越金は、約 180,000 円となります。

令和 5 年度、魅力ある行事を多数行うことにより皆様のお役に立ちたいと考えております。どうぞご期待ください。

目　次

1.　定期総会のお知らせ
　　報告　令和 5 年度年会費の件
2.　案内　「黒川・桜の森」散策
　　感想　落語鑑賞
3.　報告　歴史の会　宇治行
4-5.　投稿　奥村　彰　西行法師・鼓ヶ滝の巻　前編
6.　投稿　土井　一実　　天井の身上書
7.　事前予告　大阪中之島美術館鑑賞ツアー
　　今後の行事
8.　同好会活動

春のハイキングのご案内

「黒川･桜の森」散策

高大　２　　後藤　銃吾

　桜の名所はたくさんありますが、ほとんどは「ソメイヨシノ」です。「黒川・桜の森」は「ソメイヨシノ」ではなく、「エドヒガン」の群落を鑑賞できるのが特徴です。一庫から妙見山にかけては「エドヒガン」の自生地として有名です。

　また、昔の趣きを今に残す鄙びた黒川の郷を散策しましょう。黒川公民館は児童 100 人を擁したといわれる黒川小学校を温存したものです。ここでお茶休憩にしたいと思います。

○　日時：　令和 5 年 3 月 30 日（木）
○　集合：　能勢電鉄妙見口駅　12 時 50 分
　　（13 時発のバスに乗ります。駅とバス停は少し離れています）
○　行程：　妙見口バス停→（バス乗車）→黒川バス停→黒川桜の森→黒川公民館→妙見口
○　解散：　能勢電鉄妙見口駅　午後 3 時半～4 時ごろ
○　雨天時：　当日朝の NHK の天気予報で、大阪の午後の降雨確率が 50%以上で中止
○　持ち物：　雨具、飲料など。靴は歩きやすいもの（運動靴などがよい）
○　事前の参加申し込みは不要です。当日参加してください。

参考
○　歩行距離は約 5km、歩数は約 1 万歩。
○　上り下りはあまりありません。ぶらぶら歩きましょう。
○　昨年は雨で中止になりました。リベンジ版です。

‥　‥　‥　‥　‥　‥　‥　‥　‥　‥　‥　‥　‥　‥　‥　‥

感想　　池田の落語みゅーじあむに行ってきました

高大　３　九村　利則

２月４日の土曜日、総勢１５名で、池田にある落語みゅーじあむに行ってきました。演者の前にアクリル板が設置されており、出し物が一席終わる都度お茶子さんに扮する女性が消毒するという中でしたが、日ごろは大笑いする事がほとんど無くなったと思われるのに、今日ばかりは、笑わな損とばかりに笑いました。まだこの世界に入って４，５年から１０年くらいなのか名前も顔も知らないけれど、生の迫力は相当なものでした。やっぱり「芸事は生にかぎるなあ」を実感。トリの「シジミ売り」の噺しにはついホロリ。笑いあり涙ありの１時間４０分でした。企画して下さった香川会長に感謝です

報告　歴史の会・卯年の神社巡り2

京都・宇治に行ってきました

高１　藤原忠嗣

歴史の会は２月１１日（土・建国記念日）、男性４人、女性３人で京都の宇治に行ってきました。能勢電９時過ぎの電車で出発。山下、川西、梅田、淀屋橋、中書島と５回も乗り換えてようやく 11 時過ぎに宇治に到着。１月に続いて干支兎にまつわる神社巡りで、早速お目当ての宇治神社に向かいます。宇治神社は菟道稚郎子（ウジノワキイラツコ）が祭神。＊日本書紀によるとワキイラツコはホムタノスメラミコト（応神天皇）の皇太子だったが、兄のオオハツセノイサザワケ（仁徳天皇）と王位を譲り合った末、王位を譲るため自殺したとされています。ワキイラツコが宇治に来るときに、兎が道案内をしたとされていることから、兎にゆかりの神社とされているのです。

参拝のあとすぐ上にある宇治上神社へ。こちらは大きな神社で世界遺産。名物茶そばの昼食の後、橋を渡って中の島で佐々木高綱・梶原景季の宇治川先陣争いの跡などに寄った後、平等院にも入りました。修復後の平等院を見るのは初めてで、色鮮やかで美しくなっていました。これで当初の予定は終了、この日は暖かかったので抹茶アイスを食べながらミーティングも。また５回の乗り継ぎで予定通りの５時頃に川西まで帰着しました。

＊（筆者注）日本書紀は史書ではあるのですが、少なくともオオド（継体天皇）までは史実を交えたものがたりで作り話も多い。なかでも出自不明のホムタノスメラミコト（応神天皇）の出現には苦労している。臨月まじかの大きなおなかを抱えたオキナガタラシヒメ（神功皇后）を九州に行かせて出産。生まれた赤子の名前がホムタノスメラミコト。スメラミコトは天皇だから生まれながらの本名が天皇です。その息子のイサザワケとワキイラツコは伯夷・叔斉をモデルにして王位の譲り合いをする（叔斉は自殺しない）。大王となったイサザワケ（仁徳）は天の命を受けて周王朝を開いた文王をモデルにした聖王。さらにこの王朝最後のオハツセノワカサザキ（武烈天皇）は殷の紂王・夏の桀王に倣って悪逆非道に仕立てられ、天に見放されたことにされています。実在と作り話は別のはなしですが、熊にまたがったり・相撲を取ったりも容認する寛容さで読むべき書物ではありそうです。

投稿

日々是迷想

西行法師歌旅日記～摂津国・鼓ヶ滝の巻 前編

Ｎ４　奥村 彰

前にも後にもマスコミを賑わした東京五輪をテレビで見ながら前回はどうだったかなぁとぼんやり考えていた。東洋の魔女とオランダのヘーシングはよく覚えているが、競技以外で思い出したのは開催に先立つ昭和天皇による崇徳院陵への勅使派遣である。目的は無事に五輪が執り行われる事の祈願であった様に記憶している。

［背景］

明治になり西洋歴史学の方法論が導入されるまで、実質的に院政を確立した白川院と鳥羽院・崇徳院の祖父・孫・ひ孫の憎悪から保元の乱を起こした崇徳院は流刑・憤死し、清盛・頼朝と続く武士の世が来たのはその崇徳院の祟りによると信じられていた。明治維新による王政復古に先立ち、睦仁親王は、勅使を派遣し、崇徳院に謝罪し、その御霊を京都に運び白峯神社を作り祀った後で明治天皇として即位した事は知っていたが、今ひとつ釈然としなかった。

後年、角田文衛氏の『待賢門院璋子の生涯』と題する本（学術書と言うべきか）を読んで疑問が氷解した。なお、待賢門院璋子とは崇徳・後白河の両天皇の生母であり、幼くして白川院の養女となり、美貌の誉れ高く源氏物語の若紫の様に育てられ、41 歳の歳の差ある白河院の性愛の対象となり、やがて性に目覚めた璋子は男性遍歴を重ねるが白川院も許容していた。白河院はやがて璋子を自分の孫である何も知らぬ鳥羽天皇の中宮にする事に成功するが、その後も逢瀬を重ねやがて後の崇徳天皇が生まれる。一方で、鳥羽天皇は 2 歳歳上の璋子が気に入った様子で何人もの親王・内親王が立て続けに生まれている（後白河天皇もその一人）。やがて白河院のゴリ押しで鳥羽天皇は退位して上皇となり幼い崇徳天皇を即位させる。そして権勢を極めた白河院が崩御するや実権を握った鳥羽院は、この頃には事実を知り、崇徳天皇を無理矢理退位させ徹底的に虐める事になり保元の乱で決着した。負けた崇徳院は讃岐に流され怨霊となり、「皇を以って民となし、民を以って皇となす」との誓いを立て、やがて武士の世の中が到来する。

［西行法師］

一方で西行は眉目秀麗、和歌・蹴鞠・流鏑馬と文武両道に優れた若武者で鳥羽院の北面の武士となる（平清盛と同僚）。男前で教養豊かでスポーツ万能となると現在でも女性の注目の的。やがて鳥羽院の和歌の会にも招かれる様になり、女官達の噂を聞きつけた男好きの中宮璋子が同席し始めたが、身分の差があり常に簾越し。ある日、一陣の突風に簾が巻きあがり西行は、初めて自分と同年配の崇徳天皇を産んだ中宮璋子を見て、その妖艶さにポーとなる。神通力を失った久米の仙人の様に中宮の生脚までも見えたのかもしれない。一方で中宮璋子は 17 歳年下の眉目秀麗な西行に興味を持ち、一夜を共にしたく思い、女官である待賢門院堀河に手引きを命じる。時は如月望月の頃。西行は堀河に案内され中宮の部屋へ。格子は既に上げてあり、簾を透かして見ると人影が手招きしている。簾をそっと跳ね上げ中に入ると「ししきがんこうがかいれいにゅうきゅう」との催促。早速ことに及んだが、行為中、女性上位であつたか煌々たる満月を簾越しに眺めていた。余程の感激にまた会いたいと願ったが、堀河を通じやんわり

断られ、落胆した西行が詠んだのが『思ひきや　富士の高嶺に　一夜寝て　雲の上なる　月を見むとは』だろう。中宮と通じたからには露見すればただでは済まず、後難を恐れて突然出家した。

［鼓ヶ滝］

さて、出家した西行は和歌の道に励み諸国を放浪しながらも当代一流の歌人としてメキメキと名声を上げていった。

ある日のこと、摂津の国の北部にある名高い鼓滝を訪れた。今も能勢電鉄に鼓滝駅があり、その名を残しているが、滝そのものは無くなっている（友人の話では江戸時代に多田神社の拡張工事に伴い無くなったとか）。その名の由来は水晶の様に水が流れ落ち、ポーン、ポーンとまるで鼓を打つ様な音が鳴り響き平安時代には全国に知られる名所であったそうな。

西行は滝を眺めて暫く考えて、やおら矢立から筆を取り出しさらさらとしたためた。

『伝え聞く　鼓ヶ滝に　来てみれば　沢辺に咲きし　たんぽぽの花』

ふーむ、昔から多くの歌詠みが詠んだ滝だが、これに勝る歌はあるまいと悦にいってる間に寝入ってしまった。

ふと気がつくと辺りは真っ暗。今の様に能勢電も無く途方に暮れて山道を彷徨していると向こうに仄かな灯りが。

早速灯を目指して行くと一軒のあばら屋。隙間から覗いて見ると、おじいさんとおばあさん。それに 7,8 才の孫むすめ。あゝありがたいと

「お頼み申す　お頼み申す」

「はい　はい　どなたさまで？」

「鼓ヶ滝で歌を詠んでおりました旅の出家でございます。どうか、一夜の宿を」

「左様でございますか。うちは煮物ぐらいしかございませんが、どうぞ中へお入りくださいませ」

と、山奥の爺さんにしては、随分と品のある話し方をする。

孫むすめがしんばり棒を外して

「ご出家さま、どうぞ中へ」

と、これまた、じつに上品な話し方をする。

「お孫にございますかな？」

「いえいえ、ひ孫にございます。孫夫婦が都へ出ておりまして、我ら老夫婦が預かっております。」

「左様でございますか。ひ孫と言うのは可愛いものでございましょうな」

「かわいい、かわいい。孫もかわいくございますが、青は藍よりいでて、その色、藍に勝る。

ひ孫は孫よりいでて、その愛、孫に勝ると申しますからな。更に都の風習に倣い、丈夫に育つ様にと、男の子なのに女の子の着物を着せております」

「ほう、これはご老人。じつによき育て方をされておられる」

以下、後編（4 月号）に続く

お楽しみに！！

投稿

～天井は身上書～

高　2　土井一実

一寸先は闇。令和 4 年 11 月 19 日土曜日　午前 11 時 20 分頃でした。西公民館から自動車での帰り道、突然、対向車がセンターラインを越えて飛び込んで来た。正面衝突。腰椎、鎖骨、胸骨の骨折。それから 2 か月、天井を見つめての生活が始まりました。

病室の天井の煙感知器が、眼鏡を外した私には阿弥陀様に見え、周囲の黒い模様が梵語で書かれた私の身上書のように思えました。

天井は　我が身上書　晩秋

これからどうなる。　そんな毎日でした。

歩くことは　生きることなり　十二月

歩行器や　力新たに　師走入り　　（初めて一人で歩きました）

その頃から、リハビリ専門病院への転院の話が息子や妻の間で進められていました。

年の瀬や　妻子に従い　転院す　　（令和 4 年 12 月 19 日転院しました）

リハビリ専門病院は 5 階の病室で眺望が良く気分が晴れ晴れとしました。

五月山　妙見山と　冬晴れと　　（五月山・妙見山が並んで見えるのです）

リハビリは一日午前、午後と 2 回ありました。支援してくださる理学療法士・作業療法士は、私の孫の年代の人たちが多く、当日朝に担当が決まります。リハビリは退院後、自立できるように身体的な訓練に加え、精神的な立ち上がりも視野に入れ、彼(彼女)らは、積極的に話しかけ、患者の悩みや不安を受け止め、色々の話をしながら進められていました。心穏やかな時間でした。

手帳には　空白ページ　大晦日

図らずも　年越し蕎麦を　一人食む　　（病院では小さく刻んだ年越し蕎麦が出ました）

暖かい病室でしたが、換気のため廊下の窓が少し開けてありました。

隙間風　外の寒さを　伝えけり

退院後の生活の変化に不安を覚えました。

暮らし方　変更余儀なし　年始め

リハビリ病院では 1 か月の間に 4 回病室を替わりましたが、そのたびに見える外の景色が全く違うのです。

部屋替わる　景色も変わる　冬晴れよ

妙見山　新年壽ぐ　赤き雲

甲山　勇者の想い　初春かな

冬の暮れ　マンボウの雲　流れゆく

入院 3 週目に退院 OK が出ました。

退院の　告知受けたり　冬夕焼

令和 5 年 1 月 18 日水曜日　妻と犬が待つ我が家に無事帰ることが出来ました。

膝に乗る　犬の背中と　炬燵かな

ひとり待つ　妻に感謝の　冬日かな

突然の入院で、多くの方々にご迷惑、ご心配をおかけしましたことをお詫びするとともに、多くの励ましのお言葉をいただきましたことに紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。

これからもよろしくお願い申し上げます。

投稿

雪でつくられた「愛」

N ２　香川 忠輝

１月 28 日、積雪　？　cm！

中学生風の女の子３人が吉川中学と図書館の間のフェンスに「愛」の花を咲かせてくれました。
様々なメッセージが思い浮かびます。寒い朝、足元に気をつけながらでしたが、本当に心和むシーンとなりました。

事前予告

大阪中之島美術館へのお誘い

４月 26 日（水）実施決定！

大阪中之島美術館で開館１周年記念特別展「佐伯祐三　自画像としての風景」が開かれます。
会　期　　2023 年４月 15 日～6 月 25 日
観覧料　　一般　￥１，８００　（前売り・団体￥１，６００）
音声ガイド　１台￥６００
アクセス　　JR 新福島駅より徒歩 10 分ぐらい。
交通費　　￥６５０×２＝￥１，３００
ときわ台 9 時 20 分集合　9 時 34 分発　JR 新福島 10 時 42 分着
11 時～12 時 30 分鑑賞　13 時頃昼食　新福島 14 時 15 分発　ときわ台 15 時 19 分着
｛昼食は新福島近くのホテル阪神地下にある中華料理「福の虎」に行きます。ランチ￥1,000 ぐらいです。｝

４月号で詳しくお知らせします。乞うご期待を！！

今後の行事

開　催　日	行　事　名	場　所	備　考
3 月 30 日（木）	桜の森　散策	黒川方面	昨年の再挑戦です。お楽しみに。2 ページ
4 月 22 日（土）	令和 5 年度定期総会	東ときわ台自治会館	予告は、本紙 1 ページにて
4 月 26 日（水）	美術　鑑賞	大阪中之島美術館	事前予告は、7 ページにて。
5 月　予定	街歩き	万博バラ園	

同好会活動のお知らせ

（お問い合わせは各代表者へ）

同好会名	代表者 TEL	場　所	実施日		時　間	備　　考
			３月	４月		
手作り玩具の会	正木國博 738-2896	－			－	当面休会します。
囲碁の会	香川忠輝 080-2534 -7615	西公民館 月/美術 木/料理 金/美術	6（月） 9（木） 17（金）	3（月） 13（木） 21（金）	12:30 ～ 17:00	2･3月は、親睦囲碁大会です。令和4年度最後のチャンピオンを目指してみんな真剣勝負の例会です。
歴史の会	古寺忠夫 738-6069	京都・ 宇治神社	17(金)	21(金)	9:30 ～ 15:00	3 月は吉備津神社へのバス旅行がありますのでそれを会の活動として取り上げます。4 月は室内勉強会の予定。
パソコン・デジカメクラブ	中村　亨 738-3021	西公民館 視聴覚室	18(土)	15(土)	9:30 ～ 12:00	それぞれのレベルに合わせ懇切丁寧に指導、画像ソフトの初歩から始めています。写真を自由に操れます。
俳句を楽しむ会	今井絹代 738-2043	豊寿荘 図書室	4(土)	1(土)	13:30 ～ 16:00	句会の会場が今月から豊寿荘図書室になります。皆様のご参加を心よりお待ちしております。
ひまわり会（歌体操）	田中 久美子 734-1705	西公民館	15(水)	19(水)	10:00 ～ 11:30	春です。身も心もリフレッシュして頑張ります。その内出前の声もかかるかも！
とよのうたう会	平田敦子 738-7547	「かりな」 コープ新光 風台店内	23(木)	27(木)	17:00 ～ 20:00	「支所前16:40発」の新光風台循環バスで「シートス前」下車。徒歩1分。新曲派、懐メロ派大歓迎。
豊能語り部の会	谷　啓子 737-0303	西公民館	8(水)	12 (水)	13:30 ～ 16:00	落語の朗読練習に取り組んでいます。春風亭柳橋の「子はかすがい」、落語のリズム感と間の取り方を考えながら、楽しく練習しましょう。
ペタンク同好会	竹田 登喜勇 738-2174	ふれあい広場	毎週 日・水・金	毎週 日・水・金	9:30 ～ 11:30	ペタンクは子供も大人も、年齢に関係なくプレー出来ます。青空の下、あなたも始めませんか！　運動し易い服装で来てください。ペタンク球など準備の都合上、竹田までご連絡ください。
G・Gクラブ	藤原忠嗣 738-2358	ふれあい広場	9日(木) 23日(木)	13日(木) 27日(木)	13:00 ～ 15:00	初めての方、ご一緒にプレーしませんか。道具は当方で用意します。
スポーツ吹矢の会	貝原吉男 738-1900	西公民館 軽運動室	11(土) 25(土)	8(土) 22(土)	13:00 ～ 15:00	吹き矢を経験して肺活量が増えたとの感想を聞きました。3月25日は箕面の小山先生のご指導があります。

編集後記

春は手の届くところに来ています。
代役での編集、これが最終号です。至らぬ点、多々ありましたがなんとか終了です。
4 月号から土井さん広報担当に復帰されます。
皆様のご投稿、お願いいたします。

香川忠輝
Tel　080-2534-7615
E-mail　kagawa511.etokiwa@hera.eonet.ne.jp

妙見の野鳥⑧　イソヒヨドリ

鳴き声：ツツピィーコー
背は暗い青色で腹が
赤褐色の目立つ色
本来は海岸にいる
【ムクドリ大】
野鳥の見られる
大まかな場所　山麓
最近は住宅の屋根上でも